

東日本大震災  
あの日を未来につなぐ、宮城のいま。

2020.4.11

Vol.

48

April, 2020

ナウイズ  
毎月11日発行

# NOW IS.



ムロツヨシ  
in  
雄勝  
石巻市



どんな時も、自ら動く大切さを  
二人の姿から学びました。

NOW IS. 対談

談

Talk Session

in 石巻 勝雄

ISHINOMAKI Ogatsu

# 普通の夫婦の 小さな一歩から始まった 大きな支援の輪。

津波によってすべてが流され、生活の色が失われた雄勝を花と緑の力で復興するために、被災した住民自らが立ち上げた「雄勝ガーデンパークプロジェクト」。今回は、その拠点となる「雄勝ローズファクトリーガーデン」に、俳優のムロツヨシさんと訪れました。プロジェクトの合言葉は「人とつながり、希望を紡ぐ」。地域住民やボランティアとのつながりに支えられて、今年8年目を迎えたプロジェクトについて、代表の徳水夫妻にお話を伺いました。

復興の主人公であることが心の癒しにつながる。

**徳水利枝さん（以下利枝）** ー私は生まれも育ちも雄勝です。津波で海沿いの実家が流されてしまい、そこで母もしまいました。ちよっとしてから実家があったところに行ったら、辺り一面真っ茶色なの。見渡す限り家もなくて、茶色の地面と瓦礫だけ。さみしくなって、2012年の春に、一株の花を植えたんです。それが始まり。  
**ムロツヨシさん（以下ムロ）** ー

Murotsuyoshi

ムロツヨシ

むろつよし

PROFILE

1976年生まれ、神奈川県出身。俳優。大学在学中から役者を志し、下積み時代を経て、テレビドラマ、舞台、映画など幅広く活躍中。近年は「LIFE!〜人生に捧げるコント〜」など、喜劇にも活動の幅を広げている。

最初から、雄勝全体に活動を広げたいと思っていましたか？  
**利枝**ーそんなこと全然思わなかったんですよ。実家の土地に花を植え始めたら、それはいいね、と支援してくださる人が現れてきたんです。その中の一人が、今も助けてくださっている仙台の造園会社の社長さん。「庭のブ口にはプロの技があるから」と土を入れてくれたりして、だんだんと活動が大きくなってきています。

**徳水利枝さん（以下博志）** ーこちらからボランティアの募集をしたことは、一回もないんですよ。同じ人が何度も来てくれたり、新しい人を連れてきてくれたりする。今のガーデンも、レングから何から全部ボランティアの人が手伝ってくれたんです。私たちは普通の夫婦ですが、そんな小さな個人でも、一生懸命最初の一步を踏み出すと、自然と人がつながってくるんですよ。たった一歩で、輪が広がる。人間って、捨てたもんじゃないんだな、とつくづく感じました。

**ムロ**ーそうか、一歩踏み出す、ですか。最近は大きな自然災害が増えて、日本中どこにいてもいつそういう場面に直面するかわからない状況じゃないですか。自分も、何かあったとき、徳水さんのように一歩踏み出せる人間でありたいですね。

**利枝**ー始めたころは、人に助けてもらっただけじゃなくて、自分が行動する側になりたいというのもありました。当時は靴もドロドロ、財産は今着ているものだけ、みたいな状態だったでしょう。人に面倒見てもらわないとどうしようもない状況だったんですけど、やっぱり心のどこ

かで、これじゃいけないと思ってたんです。支援を受けるだけじゃなくて、生み出す側になりたい、というか。  
**博志**ーそう。支援慣れするのは、一番良くない。  
**ムロ**ー支援慣れ！なるほど。これは、当時の状況を経験した人からしか出てこない言葉だなあ。  
**博志**ー与えられることに慣れると、待ってるばかりになるんですよ。でも、それじゃあいつまでたっても、本当の癒しにはならない。行動して、自分が復興の主人公になって、はじめて癒

Tokumizu Rie

徳水利枝

とくみずりえ

Tokumizu Hiroshi

徳水博志

とくみずひろし

PROFILE

利枝さんは一般社団法人雄勝花物語代表、博志さんは共同代表。雄勝を花と緑の力で復興したいという想いで立ち上げた。現在は、ガーデン内の管理運営や体験教室などのほか、オーリーブを活用した地域産品の開発も目指している。



人とのつながりで生まれた  
みんなのガーデンです。



活躍する応援職員

# SUPPORT POWER



2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震。宮城県から、県内の各消防本部で編成された「緊急消防援助隊」が派遣されました。「緊急消防援助隊」は、1995年の阪神・淡路大震災を教訓に、普段、地元の災害に対応している消防隊が、国内で大規模な災害や事故が起きた際、被災地の消防本部だけでは対応できない場合に、被災地からの応援要請を受け、消火や救助、救急活動を行う都道府県単位で構成された消防部隊です。

北海道胆振東部地震が発生したその日、仙台市消防局の隊員として出勤し、被災地である厚真町の胆振東部消防組合消防本部で札幌市消防局の隊員とともに被害の情報収集や緊急消防援助隊の活動調整などを行ったのが石堂さんです。「本部では、地域住民からの119番通報、消防へり、警察または自衛隊などから、膨大な量の情報が入ります。寄せられた情報が正確かどうかの確認をしながら、少しでも早く共有・発信できるように、かなり気を遣いました」と言います。「一刻も早く被災者を救助しなければという気持ちと、厚真町の職員の負担が少しでも軽くなれば



北海道胆振東部地震での指揮支援隊の活動の様子。

## 災害に備え、消防・救助の技術を日々磨く

「緊急消防援助隊」は、1995年の阪神・淡路大震災を教訓に、普段、地元の災害に対応している消防隊が、国内で大規模な災害や事故が起きた際、被災地の消防本部だけでは対応できない場合に、被災地からの応援要請を受け、消火や救助、救急活動を行う都道府県単位で構成された消防部隊です。

現在、「石堂さんは仙台市消防局の宮城野消防署警防課に所属しています。「新しい消防・救助の技術を取り入れながら、災害に備えて常に技術を磨いていくとともに、若い職員の育成にも力をいれたいです。どのような現場にも、仙台市消防局の部隊が来てくれたら安心だと言われるような組織になりたい」と話してくれました。

仙台市消防局 宮城野消防署  
警防課警防第二係 主任  
消防司令補  
いしどう だいこう  
石堂 大輝 さん  
仙台市より北海道厚真町に派遣(2018年時)

## AREA information

### 石巻市雄勝観光物産交流館

豊かな海を見渡せる雄勝地区中心部の高台に、観光・商業の拠点としての施設を整備しています。雄勝地域の特産品をメインとした物産販売、寿司店やカフェなどの飲食店、雑貨・日用品を取り扱うお店などが入ります。施設は、令和2年4月中旬にオープンする予定です。

0225-57-2111  
(石巻市雄勝総合支所 地域振興課)



### 日和山公園の桜

石巻市を代表する桜の名所日和山公園は、毎年4月中旬から2週間程度が見頃です。園内にはソメイヨシノをはじめとする約400本の桜が咲き誇り、春の訪れを感じさせてくれます。また、桜が散った後でも、薄緑の桜であるギョイコウが目を楽ませてくれます。

0225-95-1111 (石巻市産業部観光課)



復興や防災にまつわるニュースをお伝えします

# 今なお続く復興の現場。変わる雄勝の風景を見て、感じる旅。

Visit 石巻・雄勝 ISHINOMAKI Ogatsu



MORIUMIUSの木の廊下で、スタッフの原田さんと。

訪れて感じる。9年目の復興の現場。「雄勝ローズファクトリーガーデン」には、カリフォルニアやローマをイメージした庭が作られています。「ポランテアの方と相談しながら、1年かけてつくりました」と徳水博志さんは話します。ガーデンの奥には、北限のオリブの畑も。「葉はお茶にするので、噛むと甘いですよ」と博志さん。ムロさんは、

「せっかくなので縁をいただいたので、ここで自分に何ができるか考えたい。手伝いに来るのもそうだし、なにか寄贈したりできそうですね」とムロさんは目を輝かせて話しました。昼食はおがつ店こ屋街の「伝八寿し」で。盛りがよく、リーズナブルな定食に驚きの声をあげるムロさん。店主の加納電司

さんは、「ありがとうございませう」と笑います。「雄勝で店をするのももうやめようと思ってたんですけど、食堂がなくて困るという声が多くて。地元の人も工事関係者も来るので、寿司だけじゃなくて、蕎麦やうどん、丼も出すようになりました。震災前から300円くらい値段を下げたかな。もうすぐ今の仮設商店街がなくなるといって話に、ムロさんは「目に焼き付けておかないとな」とつぶやきました。



おがつ店こ屋街の「伝八寿し」で店主の加納さんのお話を伺いました。



MORIUMIUSの寝室の天井は、船の底のような構造になっています。舟大工が多かった港町の学校ならではの。



MORIUMIUSの裏山から、雄勝の海を一望。「本物の穴場だな」と見るムロさん。

最後に訪れたのは、廃校になった桑浜小学校を改装したことも複合体験施設「MORIUMIUS」。サステイナブル、ローカル、ダイバーシティをテーマに、小学生の子どもたちと交流の場を提供しています。教室を改装した寝室を見て、「これは枕投げしそうだな」とムロさん。薪で炊くお風呂、鶏やヤギなどの動物。村のような雰囲気、楽しそうなるムロさん。「こみはたい肥にしたり、お風呂の排水をお米作りに再利用したり、循環型の

自然の中で生活する経験をしてもらっています。薪を割ったり、火をおこしたり、子どもたちも楽しんで参加してくれるんですよ」とスタッフの原田明季さん。ムロさんは「こういう経験をするのがどれだけ大切なことか。自然の優しさや怖さを同時に感じるというのは、大人でもワクワクしますね」と笑顔を見せました。

「東日本大震災の後、現地に赴いて支援できなかったという後悔がずっとあって。今日来られた、本当に良かったです。どんな形であれ、これからも雄勝とつながっていかれたらと思います」。



雄勝ローズファクトリーガーデンのオリブ畑。オリブオイルやオリブ茶などの開発を目指しています。

ここに注目! NOW IS. EYE'S



築100年近くの木造校舎を改装した体験型宿泊施設「MORIUMIUS」。1泊や2泊の短期滞在プログラム、1週間のサマープログラムなど、小中学生が自然を体感できる仕組みがあります。大人の研修も受け入れています。

# ドライシャンプーを 普段の生活に取り入れよう!!!!



東日本大震災や熊本地震をきっかけに、防災グッズとしての需要も高まっている「ドライシャンプー」。水やお湯などで洗い流さないうドライシャンプーは、普段の生活にも取り入れたい便利なアイテム。先駆けとなった商品は、1994年に株式会社資生堂が発売した「フレッシュ水のいらぬシャンプー」。そして、2019年にはTSUBAKIブランドからもドライシャンプーが誕生しました。

## check! 01

### 忙しい 現代女性向け アイテムとして開発

資生堂ジャパンライフスタイル事業本部の久保井一裕さんは、「フレッシュ水のいらぬシャンプー」は、現在ではシャワーが使えない非常時に便利

な商品というイメージがありますが、当時、若者層の清潔志向の高まりとアウトドアレジャー人気を受け発売いたしました。TSUBAKI「ドライシャンプー」が現代女性のライフスタイルに合わせ、いつでもどこでも必要な時に必要な場所でシャワーを浴びたような爽快感を得られるアイテムとして発売しました。現代の女性は忙しい毎日を通しており、その60%以上が「お風呂・洗髪が面倒」と感じています。また実際に約34%が「髪を洗わずに過ごす日がある」と回答しています。(\*）そこで、この「お部屋でシャンプー」が現代女性のライフスタイルでもお役に立てると確信いたしました」と話します。

実際にTSUBAKI「お部屋でシャンプー」を使用した人からは「仕事や育児に忙しい30、40代女性はもちろん、50、60代女性の方からも、シャワーを浴びない日にも便利との評価をいただいております」とのことです。今後ますます需要も高まっていきそうです。

## check! 02

### 被災地でも 役立った ドライシャンプー

資生堂では、さまざまな被災地への救済物資支援としてドライシャンプーを送りました。「当社は、災害時等に1日も早い復旧を願い、状況を鑑みたくて主に衛生面を目的とし、ドライシャンプーを支援物資としてお送りしたことがあります。当社商品を通じ、少しでも被災された方々のお役に立つことが出来れば、と考えております」と、久保井さん。

防災グッズとしてももちろん、普段の髪のお手入れにも便利なドライシャンプー。ぜひ、生活に取り入れてみてはいかがでしょうか？

\*2018年3月20代、40代有職女性400名を対象とした調査

# NOW IS. 防災

# BOSAI FRONT LINE

## PROFILE

### 株式会社 資生堂

化粧品品の製造・販売を行う。化粧品の国内シェア第1位。ヘアケアブランドであるTSUBAKIは、「待ち時間0秒サロン〜サロン帰りの髪を自宅で〜」をコンセプトとし、2020年3月にリニューアル。

Vol.12

## INFORMATION from MIYAGI

〔宮城県からのお知らせ〕

### 01 震災復興ポスターを 配布しています!

宮城県の復興の「いま」をお伝えするとともに、復興の過程で得られた新たな「価値・教訓」を全国に発信するため、今なお復興に向けて取り組む方々の決意や想いを表したポスターを4種類作成しました。震災の記憶の風化防止や、防災・減災を目的とした掲出を行っていただける方には無料でご提供いたします。



### 02 「宮城県震災復興パネル」の 貸出しについて

宮城の復興状況をまとめた「宮城県震災復興パネル」の貸出しを行っています。防災等のイベントのほか、大勢の方にご覧いただける場所で展示いただける場合には無料でお貸しします(送料は利用者負担)。全10枚のうち、枚数を限定した貸出しも受け付けていますので、是非ご検討ください。

●仕様等  
サイズ:A1、枚数:10枚、  
貸出料:無料、送料:利用者負担

ポスターとパネルの詳細は  
みやぎ復興情報ポータルサイト で検索

◎県震災復興推進課 ☎022-211-2408



## MEDIA INFORMATION



みやぎ復興情報ポータルサイトは  
こちらから!



https://www.fukkomiyaagi.jp

宮城の復興情報を発信する、「みやぎ復興情報ポータルサイト」をリニューアルしました! 復興に関するお知らせや復興の進捗状況、復興に向けた取組などを発信します。

最新情報を  
ブログで!

## ブログピックアップ

### いわたかれん 復興フォト



岩田華怜

これまでの被災地訪問は90回を超える岩田さん。「写真」に想いを込めて、被災地の状況を発信しています。今回訪れたのは「石巻市」。東北初の和紅茶「kitaha」を製造・販売する「お茶のあさひ園」や「サン・ファン館」を訪れました。

### いまを発信! 復興みやぎ



SNS「いまを発信!復興みやぎ」では、取材チームが見た被災地の「いま」を発信しています。皆さまからの投稿もお待ちしております。ハッシュタグ「#fukkomiyaagi」をつけて、撮影した画像をお寄せください。

### NOW IS. メールマガジン

NOW IS. の発行日(土日・祝日のときは翌平日)にメールでお知らせします。

NOW IS. メールマガジン で検索して登録!

### NOW IS. 復興 インタビュー

#### NOW IS. 取材チーム

日々、被災地を巡っているNOW IS. 取材チームが、被災地で復興に向けてさまざまな取組を行う団体などを紹介します。



名取市関上の水産加工会社の後継者たちで結成された「yuriage suns(関上サンズ)」。震災で被害を受けた関上の水産業を若い力で盛り上げようと、関上の魅力をPRしています。今回は、センシン食品の高橋さんに話を伺いました。

「みやぎ復興情報ポータルサイト」内の「NOW IS. 復興レポート」をご覧ください。

### 雄勝石

#### 取材 こぼれ話 Voice from STAFF

豊かな山々と深い入り江が織りなす雄大な自然が広がる雄勝湾。海の幸はもちろんですが、国指定重要無形民俗文化財「雄勝法印神楽」や伝統工芸品「雄勝硯」にもぜひ注目してみてください。特に、「雄勝硯」の原石である「雄勝石」は、経年劣化が起きにくい特性があり、東京駅丸の内駅舎の屋根材やデザイン食器、花器など、幅広く展開しています。漆黒のお皿は和洋折衷、どんな料理も引き立ててくれそうです。



# ◆ みやぎのタカラ ◆

Treasures of Miyagi

宮城県が得た震災の教訓や復興の道筋は、未来に役立つ宝に育ちつつあります。  
この地で生きる人々の想いととも、世界に発信していきます。



FILE  
No. 12

おがっ  
石巻・雄勝

## 雄勝ローズファクトリー ガーデン

一般社団法人  
雄勝花物語

雄勝の人々が育てる  
手作りのガーデン

雄勝の海沿いにある雄勝ローズファクトリーガーデンは、バラを中心としたイングリッシュガーデンです。江戸時代、雄勝から世界に出発したと言われる慶長遣欧使節団にちなんで、カリフォルニア、ローマ、スペインなどをイメージした庭が設けられています。バラのシーズンは5〜6月ごろ。多様な種類のカラフルなバラが咲き誇る風景は圧巻です。

ガーデン内には、地域の女性たちが働くカフェもあり、コーヒーやソフトクリームを味わいながら散策することもできます。近年は「北限のオリブ」の栽培も。オーナー制度で支援者を募集する予定です。

ガーデンを中心とした「雄勝ガーデンパークプロジェクト」も動き出しています。MORUMISなど、雄勝の主要な場所をつないで、まち全体をガーデンとして捉え、まちを盛り上げていこうという取り組みです。

一株の花から始まった活動は、多くの人の力を借りながら、大きく飛躍しようとしています。



NOW IS. vol. 48

発行：2020年4月11日 宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)  
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号  
Tel: 022-211-2408 Fax: 022-211-2493

『復興情報発信プロジェクト NOW IS.』は、宮城の復興の「いま」を伝えるプロジェクトです。

 宮城県  
Miyagi Prefectural Government